

## 中国で**狂犬病急増** ペットブーム背景に

記事：共同通信社

提供：共同通信社

【2006年10月24日】

【北京23日共同】23日付の中国紙、人民日報によると、衛生省は今年1月から9月までの全国の狂犬病発生数が昨年同期比29.7%増の**2254件**に上ったと発表した。9月だけでも318人が死亡しており、5カ月連続で中国の感染症による死亡者数のトップとなっている。

同紙によると、都市部でのペットブームなどが背景とみられる。狂犬病発生数は1996年の時点で全国でわずか159件と急増ぶりは明らかで、北京の日本大使館もホームページで中国に滞在する日本人に対し、むやみにペットを購入しないよう注意を呼び掛けている。

専門家は、都市部ではペットとして、農村部では番犬として犬を飼う家庭が増えていると指摘。飼い主らが、予防注射などの狂犬病対策を怠っていることや、かまれた後の適切な治療が行われていないことが狂犬病急増の原因としている。

予防措置の徹底とともに、犬を放して散歩させないなど飼い主のマナー向上を呼び掛けているほか、野良犬の処分徹底など行政側の管理強化を求めている。